

総括

■ 種別

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」を適用して審査を実施した。

■ 認定の種別

書面審査および6月27日に実施した訪問審査の結果、以下のとおりとなりました。

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」認定

■ 改善要望事項

高度・専門機能「リハビリテーション（回復期）」
該当する項目はありません。

1. 病院の特色

貴院は、リハビリテーション科専門医を含めた医師をはじめ、回復期リハビリテーションに必要な専門職を十分に配置してチーム医療を展開している。回復期リハビリテーション病棟の理念や基本方針が職員一人ひとりに徹底され、患者の個別性を重視し質・量ともに充実したリハビリテーション医療の提供、そして地域へつなぐ医療が実践されている。

開設当初より鳥取県西部地域の地域連携の強化として、「脳卒中地域連携パス」で中心的役割を果たし円滑な運用を図っている。先端的なリハビリテーション技術を取り入れ、積極的にリハビリテーションに取り組みされており、退院後の訪問リハビリテーション・通所リハビリテーションも充実し、生活自立支援や就労支援も積極的に行われている。また、各職種の専門性向上のための教育研修に関して、組織的に支援され、多くの研究発表がある。さらに、急性期病院との連携や退院後の生活支援まで、幅広いリハビリテーションニーズに応じられるよう、組織強化を図られている。

鳥取県の地域包括ケアシステム構築の要となる病院として、今後も医療の質向上に向けて継続して取り組み、ますます発展されることを期待したい。

2. 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

法人の理念を踏まえた回復期リハビリテーション病棟の基本方針、診療方針が明文化されており、内容は病院運営会議にて定期的な見直しが行われている。365日充実したリハビリテーション・ケアを提供するための各専門職が配置されている。回復期リハビリテーション病棟を統括的に運営するための体制として「運営会議」が

開催され、「部門調整会議」が現場からの提案や運営会議での決定事項を実働に移す役割を担っている。安全管理体制は、医師を含む多職種で構成された医療安全管理委員会を中心に活動している。発生頻度の高い事象については標準的な対応手順を整備し、組織的に取り組んでいる。病棟生活や訓練時に起こりうる急変時の対応については手順を整備し、急変時を想定した対応訓練を多職種で実施している。病室は全室個室でありプライバシー保護と個々の患者の安全対策に配慮した療養環境を整備している。

医療の質を確保するための臨床指標が定められ、適切な評価、データ収集・分析・共有が行われている。運営上の課題は、病院長・副院長も参加する毎朝のミーティングでトリアージされ、具体的な対応策を検討する仕組みがある。教育・研修は、包括的・計画的な教育研修体制があり、多方面での学会・研究会発表の実績がある。急性期病院との連携は、地域連携パスが積極的に活用されている。自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続や退院後の生活状況の把握も適切になされており、在宅復帰後のリハビリテーション・ケア継続へ向けて、訪問リハビリテーションや通所リハビリテーションが開設されている。患者が自宅復帰後も獲得した生活機能を維持できるよう地域サービス提供機関とも円滑に連携している。自宅復帰が困難な患者のリハビリテーション・ケアの継続性が保たれるように、施設等と円滑な連携に努めている。

3. 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

リハビリテーション科専門医を含む医師が、回復期リハビリテーション病棟入院患者の診療にあたっている。医師はチームの統括や指導、患者・家族への説明や指導の役割を果たしている。看護師・介護福祉士の業務手順が整備されており、退院後の生活を想定した個別性のある看護・ケアを行っている。看護師や介護福祉士の育成は、目標管理による教育体制を整備している。各療法士は、標準的な評価に基づいて策定した目標達成のため、プログラムの策定や見直しを進捗に応じて行い、介入に関する療法士間の分担や連携も適切に行われている。質向上に向けたデータ分析、院内教育や院内外の発表、認定回復期セラピストマネジャーの育成、専門資格取得等への組織的な取り組みも行われており、職員の業務へ取り組む姿勢と成果は高く評価できる。

社会福祉士は、リハビリテーション・ケアの進捗と患者・家族の意向を踏まえた支援を行っている。組織としての専門資格取得への取り組みのほか、地域の相談支援体制の構築や質向上に向けて貢献されており、高く評価できる。管理栄養士はカンファレンスへ参加し、入院初期からの体系的な栄養評価や進捗に伴う栄養管理や食形態の見直しを行っている。在宅栄養専門管理栄養士の資格を有している。薬剤師は持参薬を評価し、代替薬、剤型、服薬方法の提案やポリファーマシー対策の必要性などを医師に提案している。歯科衛生士はチームメンバーとして専門性を発揮している。

4. チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

入院初日に標準化された評価が多職種により実施され、インシヤルカンファレンスを実施し、患者の意向を踏まえたリハビリテーション実施計画を作成のうえ患者・家族に説明している。1日7単位以上の疾患別リハビリテーションが実施され、ロボット機器などを活用し、機能回復のための療法が積極的に実施されている。個別リハビリテーション以外にも患者の活動性を高めるレクリエーションが多職種で協力して行われており、余暇時間の活動性向上のための支援が行われている。

初期カンファレンスや定期カンファレンスを多職種で行い、リハビリテーション総合実施計画が見直されている。リハビリテーション総合実施計画書の説明は医師によって行われ同意を得ている。必要に応じて、転倒予防対策を検討する多職種で構成されたチーム「まくれん隊」の介入や「まくれん隊カンファレンス」が行われ、必要な対策が検討されている。病棟での朝夕のミーティングは、担当する医師、看護師、療法士などの全てが参加している。社会福祉士、管理栄養士、薬剤師、歯科衛生士も患者の個々の問題に対して、チームと協働しながら専門性を発揮している。家屋調査や試験外泊や外出訓練が行われ、退院時に見込まれる心身機能、ADL、IADLを踏まえた療養指導、環境整備、介護サービスなどが提案されている。退院後の訪問リハビリテーションによるフォローアップを行い、自宅復帰後の生活指導、社会参加への支援などが行われている。自動車運転や復職支援といった個別ニーズに対しても教習所や職場と連携して支援を行っている。

1 良質な回復期リハビリテーションを提供するための組織運営

評価判定結果

1.1	良質なリハビリテーションを提供するための体制	
1.1.1	回復期リハビリテーション病棟の運営に関する方針が明確である	II
1.1.2	良質な回復期リハビリテーション機能を発揮するために必要な人員を配置している	I
1.1.3	リハビリテーションを提供するための組織体制が確立している	II
1.2	安全で質の高いリハビリテーションを実践するための取り組み	
1.2.1	患者の安全確保に向けた体制を整備している	II
1.2.2	患者の急変時に適切に対応できる仕組みを整備している	II
1.2.3	安全で安心できる療養環境の整備に努めている	II
1.3	質改善に向けた取り組み	
1.3.1	回復期リハビリテーションの質改善に必要なデータを収集し活用している	II
1.3.2	回復期リハビリテーションに関する自院の課題の把握と対応策を検討している	II
1.3.3	回復期リハビリテーションに関する教育・研修を行っている	II
1.4	地域の医療機関等との連携とリハビリテーションの継続に向けた取り組み	
1.4.1	急性期病院と円滑に連携している	I
1.4.2	自宅復帰後のリハビリテーション・ケアの継続に向けて地域サービス提供機関等と円滑に連携している	II
1.4.3	自宅復帰が困難な患者のリハビリテーション・ケアの継続に向けて施設等と円滑に連携している	II

2 回復期リハビリテーションに関わる職員の専門性

評価判定結果

2.1	回復期リハビリテーション病棟における医師の専門性の発揮	
2.1.1	医師は専門的な役割・機能を発揮している	II
2.1.2	医師は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	I
2.1.3	医師はチーム医療の実践に適切に関与している	I
2.1.4	医師は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
2.2	回復期リハビリテーション病棟における看護・介護職の専門性の発揮	
2.2.1	看護・介護職は役割・専門性を発揮している	II
2.2.2	看護・介護職は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.2.3	看護・介護職はチーム医療の実践に適切に関与している	II
2.2.4	看護・介護職は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
2.3	回復期リハビリテーション病棟における療法士の専門性の発揮	
2.3.1.P	理学療法士は役割・専門性を発揮している	II
2.3.1.0	作業療法士は役割・専門性を発揮している	II
2.3.1.S	言語聴覚士は役割・専門性を発揮している	I
2.3.2	療法士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.3.3	療法士はチーム医療の実践に適切に関与している	II
2.3.4	療法士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	I
2.4	回復期リハビリテーション病棟における社会福祉士の専門性の発揮	
2.4.1	社会福祉士は役割・専門性を発揮している	II
2.4.2	社会福祉士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
2.4.3	社会福祉士はチーム医療の実践に適切に関与している	II

2.4.4	社会福祉士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	I
-------	-------------------------	---

2.5	回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の専門性の発揮	
-----	--------------------------------	--

2.5.1	管理栄養士は役割・専門性を発揮している	II
-------	---------------------	----

2.5.2	管理栄養士は患者の実生活を踏まえた指導・支援を行っている	II
-------	------------------------------	----

2.5.3	管理栄養士はチーム医療の実践に適切に関与している	II
-------	--------------------------	----

2.5.4	管理栄養士は質向上に向けた活動に取り組んでいる	II
-------	-------------------------	----

3 チーム医療による回復期リハビリテーション・ケアの実践

評価判定結果

3.1	初期評価とリハビリテーション計画の立案	
3.1.1	初期評価を適切に行っている	II
3.1.2	リハビリテーション計画を適切に立案している	II
3.2	専門職による回復期リハビリテーション・ケアの実施	
3.2.1	各職種により患者に必要なリハビリテーション・ケアを実施している	II
3.2.2	リハビリテーションの進捗状況を共有している	II
3.3	多職種による課題の共有と対応	
3.3.1	定期的な情報共有による新たな課題の評価・検討を行っている	I
3.3.2	新たな課題の解決に向けたリハビリテーション・ケアを実施している	II
3.4	自宅復帰に向けた多職種による協働	
3.4.1	自宅復帰とその維持に必要な患者固有の課題の評価・検討を行っている	II
3.4.2	自宅復帰とその維持に向けた課題の解決のための具体的な取り組みを行っている	II